

## 球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.63



## 「みんなの家」が4棟全て完成しました

令和2年7月豪雨災害で被災した公民館に替わる集会所「みんなの家」下新町・上新町、大工町・二日町、宝来町がそれぞれ完成しました。3月末に完成した温泉町と合わせ市内に合計4か所、希望されていた全ての町内、地区のみんなの家が完成しました。みんなの家は、被災地区の創造的復興に向けた地域づくりの拠点として活用できるよう、日本財団が資金を助成し、一般財団法人熊本県建築住宅センターが整備する事業です。くまもとアートポリス事業で設計者が選定され、設計者と住民が意見交換を行いながら整備を進めてきました。

## 建物の特徴

- ・地域のシンボルとなる寄棟（よせむね）屋根
- ・設計に当たり、住民ワークショップを開催し、住民の意見を聞きながら設計を実施。またKASEI（九州内の建築系大学生プロジェクト）の大学生にも参加いただいた。
- ・浸水対策として、玄関部分に土のうや止水板で塞ぐことで、腰壁の高さ分の浸水を防ぐことが可能。
- ・バリアフリーへの配慮（土間と板間の段差を無くしフラットに使用できる、車いすも利用できるトイレ）



温泉町のみんなの家



大工・二日町のみんなの家



下新町・上新町のみんなの家



宝来町のみんなの家



上棟式（温泉町）



完成を祝う会（温泉町）



建物は浸水を防ぐことができる少し高い基礎で庇（ひさし）の下には住民がくつろげるコンクリートベンチを設置



車いすを使う人や足の不自由な人も出入りしやすいように土間と板間の段差を無くしたバリアフリーの室内



県い業団体から提供を受けた置き畳使いたいときだけ畳をフローリングの上に敷くことができる



KASEIも参加した住民ワークショップ（下新町・上新町）



KASEIによる内装の手伝い

問合せ先 人吉市地域コミュニティ課  
☎ 22-2111 (内線1061)